
2nd World

雑草 野花

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

2nd World

【Nコード】

N1875R

【作者名】

雑草 野花

【あらすじ】

幼なじみの拓真が死んだ。つい先日私の誕生日祝いにサプライズで花柄の鏡をプレゼントで貰ったばかりだった。拓真のいない、拓真の部屋で私は匂いに囲まれながら眠る。そのとき、不思議な夢をミオは見る。

鏡の中の異世界『2nd World』と呼ばれる世界に主人公ミオは墜ちてしまう。そこには夢で見た泉とタクマと言う青年がいて…

0 1 t i m e

『…拓真君が、死んだ？』

母は、台所にある電話の前で

静かに足が崩れていった。

正直、母の小さな声で言っている事が理解できなかった。

ニュースキャスターが天気予報で警報として”大雪警報”が発表されていた。”交通事故には気を付けましょう”と、伝えるキャスターが、無情に感じた。

拓真は、私の幼なじみで産まれた日も家も近かった。

高校だって同じで今年のクリスマスもお正月も一緒に、つい最近、

私のサプライズ誕生日パーティー

頭の中が真っ白になった。

拓真にプレゼントも用意したのに

まだ、信じられなかった、つい一昨日まで元気に話していたのに。

拓真と同じ制服を着て拓真に手を合わせている。

翌日、お通夜が行われ、拓真の父母や遺族は唇を噛み涙を流している。

死因は、信号無視による車のひき逃げ、出血多量死だった。犯人はまだ捕まっていない。

共通の友人も拓真の友人もたくさん参列していた。みんな泣きながら花を捧げる。拓真が、本当に、死んでしまったんだ。

拓真の遺影は、つい最近一緒に撮った写真を使った。拓真の笑顔が声が、もう、すべてない。

（みお、とずっといれたらいいなって、一昨日に、）

拓真、拓真、と強く、想う。

自然と涙が頬をつたう、もう拓真はいない。

涙が止まらなくなってしまった。

二週間後、拓真のいない拓真の部屋に入った。よく遊んだゲーム機や一緒に勉強したテーブルがそのまま、綺麗に並べられた雑誌、卒業するはずだった高校の制服が壁にかけられていた。

ずっと、一緒だった。

だから信じられなかった。

ベッドに倒れこむ。拓真の匂いがする。拓真、と目を瞑る。懐かしい優しい匂いに包まれて私は寝てしまった。

綺麗な泉、ここは日本でない？泉の色が変わる。水色から青、透き

通るような金色にも変わる。変わった木々が泉を囲むように生えている。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1875r/>

2nd World

2011年10月8日19時04分発行